

## アソカ講話090

テーマ「人生に無意味なものは何一つない ①」

渡辺和子氏著作「幸せのありか」に載せられている言葉を紹介したい。

「人生には思いがけない穴があくことがあります。病気だったり、大きな失敗だったり、あるいは大切な人の死だったり。理不尽で辛いことがいっぱいある。でも穴があいて初めて見えるものもあるのです。初めて分かる他人の苦しみもあります。そしていつか、穴があいたことに感謝する日がきっと来る。私はそう信じています。深い井戸の真っ暗闇の底には、真昼でも星影が映ると言われています。つまり肉眼では見えないものが、穴があいたからこそ見えるのです」とある。

悲しい辛い出来事があると、確かに心に穴があいたような気持ちになる。しかし、心に空いた穴を何で埋めるか、その埋め方で人生が変わるように思う。心に空いた穴は人を憎むこと、天を恨むことではなく、心を深くさせて頂いた、人の悲しみが分かるよう悲しみを頂いたという感謝の思いで埋めることである。

人生に無意味なことは何一つないという。それはすべての出来事を学びに変えることができるからである。その恵みに感謝したい。